◆　バドミントン競技申合せ事項　◆

［1］シャトルについては、各郡市とも各種別ごとに１ダース（エアロセンサ700　３番）を提出すること。

［2］試合形式
（1）予選リーグ
① ラリーポイント制の１５点３ゲームで全試合を行う。
（１４点オールの場合、最初に２点リードしたサイドが、そのゲームの勝者となる。
スコアが２０点オールになった場合、２１点目を得点したサイドがそのゲームの勝者となる。）

② ・成年男子の予選リーグ戦各パートの２位まで決勝トーナメント、３位を順位決定戦へ進出させるものとする。
・一般男子、成年女子の予選リーグ戦はＡ・Ｂパートは２位まで、Cパートは３位までを決勝トーナメント、Ａ・Ｂパートの３位、Ｃパートの４位を順位決定戦へ進出させるものとする。
・一般女子の予選リーグ戦は２ﾊﾟｰﾄの為、各パートの順位決めを行い決勝トーナメントへ進出させるものとする。

③ 予選リーグの順位の決め方
ア）勝敗数（勝数）の優位のものより順位を決定する。
イ）同数の場合は取得マッチ数の多い方から順位を決定する。
ウ）取得マッチ数も同じ場合は、取得ゲーム数により順位を決定する。
エ）取得ゲーム数も同じ場合は、全試合の得失点差により順位を決定する。
オ）更に同数の場合は、次の方法により順位を決定する。
○同数が２チームの場合
当事者同士の対戦で勝った方のチームを上位とする。
○同数が３チーム以上の場合
抽選により順位を決定する。

（2）決勝トーナメント
① ラリーポイント制の１５点３ゲームの正式の試合を行う。
（スコアが１４点オールになった場合、その後最初に２点リードしたサイドがそのゲームの勝者となる。
スコアが２０点オールになった場合、２１点目を得点したサイドがそのゲームの勝者となる。）
② ２試合先取とする。

［3］成年の部の試合順序について
（1）予選リーグ　　①３０歳代複　　②４０歳代複　　③５０歳代複　の順とする。

（2）決勝トーナメント（２試合先取）　＊順位決定戦も決勝トーナメントに準ずる
１回戦（準々決勝）　①３０歳代複　　②４０歳代複　　③５０歳代複　の順とする。

２回戦（準決勝）　　①４０歳代複　　②５０歳代複　　③３０歳代複　の順とする。

３回戦（決勝）　　①５０歳代複　　②３０歳代複　　③４０歳代複　の順とする。

［4］審判について
（1）相互審判とする。または、試合のないチームで行う。
（試合進行上、プレイコートを増加して行う場合は本部より指定されたチームで審判を行う。）

［5］服装について
（1）服装は（公財）日本バドミントン協会検定合格品を着用すること。

（2）選手は、背中に郡市名を表示したゼッケンをつけること。

［6］その他
（1）ゴミは必ず、各自持ち帰ること。

（2）貴重品の管理は各自で責任を持って行うこと。